

北陸農政局長賞

ろんでん

論田中山間地域等整備事業推進協議会（ろんくま） （富山県氷見市）

◆背景

論田地区は富山県西部の石川県羽咋市との県境に位置。人口減少と高齢化による農業の担い手不足など地域課題が顕在化し、平成12年、中山間地域等直接支払制度を機に協議会を設立。むらづくりの柱とスローガンを明確化し、特定の個人に負担を集中させない体制を重視して活動。近年は、隣接する熊無集落と連携し、移住者や外部人材を「ともに地域を担う仲間」として受け入れ、「ろんくま集落の教科書」の作成など、地域の魅力や暮らしを発信する活動を展開している。

論田中山間地域等整備事業推進協議会
（ろんくま）



◆取組概要

① 農業生産面

- ・ **小規模・多品目・付加価値型の農業の推進**： 水稻やハトムギ、ヨモギを栽培し加工品や交流イベントに活用。都市部大学と連携して新たな農作物栽培にも挑戦。休耕田を活用して景観作物を栽培するなど耕作放棄地の発生防止に取り組む。
- ・ **地域を代表する特産品（草もち）づくり**： 地域で栽培・採取したヨモギを草もちに加工。地元直売所や市内スーパーのほか、イベント等でも販売し、地域を代表する特産品となっている。
- ・ **農作業体験による高齢農家の作業負担軽減と交流**： 都市部の大学生が地域の農家とともに農作業を体験し、交流する「ろんくま農業インターンシップ」を開催。農作業体験を通じて地域や農業への理解を深めるとともに、地域との継続的なつながりや関係人口の創出につなげている。

② 生活・環境整備面

- ・ **集落内の環境整備とコミュニティ機能の強化**： 道路沿いに花を植える環境美化活動や獣害対策など集落の環境整備を行うほか、協議会としての頻繁な話し合いにより住民間の連帯感の醸成と住民相互の見守り体制・情報共有体制の整備につながっている。
- ・ **移住促進・関係人口創出と伝統文化の継承**： 農業インターンシップや各種イベントを開催し、大学生の調査活動なども積極的に受入。空き家を改装した宿泊体験・交流施設「ろんくまのいえ」をオープンし関係人口の増加と移住促進に取り組むほか、伝統工芸「^{ふじみ}藤箕」や草もちづくりなど伝統文化を継承。

◆写真で見る団体の取組



草もちに使用するヨモギの栽培



「ろんくま農業インターンシップ」（農作業と交流会）



草もち加工



宿泊体験・交流施設「ろんくまのいえ」

